中間報告書



社会貢献の一環として高齢者向けケア施設に県下初の災害対策用バルク設置



株主の皆さまへ

ますますご清祥のこととおよろこび申しあげます。

当社第76期第2四半期累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)のご報告にあたり一言ご挨拶申しあげます。当期間におけるわが国経済は、在庫調整の一巡やアジア向けの輸出の増加等により、一部に景気底打ちの兆しが見られるものの、企業業績の停滞による設備投資の減少に加え、雇用情勢や所得環境の不安から依然として生活防衛意識が高いまま消費マインドも回復せず、全般的に厳しい環境が続きました。

エネルギー業界におきましては、昨年の秋以降原油価格が急落してきた中で、国内での燃料類の販売競争はさらに激しさを増し、依然として厳しい市場環境に晒されている状況に加え、政権交代により我が国の地球温暖化対策としてのCO2削減目標のハードルが大幅に引き上げられ、国を挙げた取り組みが予想される中、新エネルギーを含む「競合エネルギー対策」を一段と加速させる必要に迫られております。



代表取締役社長 柳 澤 勝 久

このような状況のもとで、当社グループは、燃料類の仕入価格に応じ **神 本 勝 久** た適正利益の確保による収益力の強化に努め、お客様から選ばれるエネルギー事業者となるための付加価 値の高いサービスを提供すべく積極的な提案営業を行うとともに、環境に配慮し、かつ安価な「エネルギーのベストミックス」を推進してまいりました。また、新設した「環境事業部」を中心に太陽光発電等の 新エネルギーにも対応できる体制を整備すべく社員のスキルアップに努めながら、力をつけてきた住宅リフォームを主な切り口に家庭用燃料電池や太陽光発電の提案営業にも努めてまいりました。

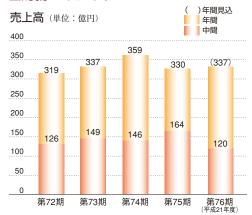
これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は燃料類の仕入価格下落に伴う販売価格の下落により120億67百万円(前年同期比26.6%減)となりましたが、仕入価格に応じた適正な価格での販売活動に取り組むとともに経費削減などに努めた結果、経常利益は374百万円(前年同期比5.4%増)、純利益は188百万円(同0.1%増)となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

平成21年12月

営業の概況(連結)

■財務ハイライト







石油事業部門では低迷する経済情勢を反映して需要減の傾向 が長引き、激しい価格競争により厳しい環境が続きました。

LPガス事業におきましては、今期に入ってからもLPガスの CP価格は安定せず、6月以降は値上がり傾向が続いております が、その中で当社は二度にわたる料金表の値下げ改定を実施い たしました。また、バルク供給件数は2万4千戸を超え、民生 用の販売数量の70%以上を占めるまでとなっております。

住設部門ではリフォーム事業が増強5か年計画の3年目をむかえ、社内で提案営業力アップを図るための訓練を行い、よりお客様の立場に立った営業提案を行いました。また、今期新設しました環境事業部門におきましては、エネルギーと環境のベストミックスを図るべく、太陽光発電や家庭用燃料電池の提案営業を積極的に開始いたしました。

<部門別営業状況>

☆ 7 88 ₽0	第75期第	[2四半期	第76期第2四	増減率	
部門別	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
	百万円	%	百万円	%	%
石 油 類	8,468	51.5	5,703	47.3	△32.7
LPガス	5,334	32.4	3,871	32.1	△27.5
住設機器類等	1,604	9.8	1,566	13.0	△2.4
煉 炭 ・ 豆 炭	145	0.9	125	1.0	△13.8
一般高圧ガス他	892	5.4	800	6.6	△10.3
合 計	16,445	100.0	12,067	100.0	△26.6

(注) 金額は百万円未満を切り捨てております。

トピックス

◆環境事業への本格的な取り組み開始■

地球温暖化防止のために、当社グループは燃料電池・太陽光発電等の環境事業に本格的な取り組みを開始 致しました。

それに伴い、「エネルギーと環境のハーモニー」というテーマで、地元安曇野市出身の世界的なアルパ奏者上松美香さんを起用した新しいテレビCMを作成し、放映を始めました。





災害対応型セルフ和田給油所



トピックス

◆リフォーム事業推進5ヶ年計画

快適な生活は、全ての生活者の要求です。当社グループでは、リフォーム推進課を設置し、「総合生活サービス」の高度化を図ってまいります。

旧来から当社グループの得意分野である、キッチン・バス等水周り設備にとらわれず、屋根・外壁等まで、皆さまのご要望に幅広くお応えできる体制構築のため、建設関連の新規有資格者の採用を行い、「一般建設業長野県知事許可(般-20)第3150号」の資格取得をいたしました。

快適生活のための、「サンリンのリフォーム」を是 非ご活用ください。



◆県下初の災害対策用バルク貯槽設置

地域社会への貢献の一環として、県内の高齢者向けケア施設5か所に県下初となる災害対策用バルク 貯槽を設置いたしました。この施設は災害時の一次 避難所として提供いただけるものです。貯槽には、こんろや炊飯器などに直接ガスを供給するホースやガス栓が備えているため、災害時の煮炊きにも利用できます。これにより、万が一の災害時に電気や都市ガスなどのライフラインが寸断されても、復旧までの数日間は生活に必要なエネルギーを確保することができるようになります。



決算短信/株価・出来高の推移

◆平成22年3月期第2四半期決算短信

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%は前年同期比増減率)

	売上高(百万円) %	営業利益(百万円) %	経常利益(百万円)	%	四半期純利益(百万円) %
22年3月期第2四半期	12,067 △26.6	300	9.9	374	5.4	188 0.1
21年3月期第2四半期	16,445 -	272	_	355	_	188 -

1株当たり四半期純利益 22年3月期第2四半期 16円21銭 15円56銭 21年3月期第2四半期

(2) 連結財政状態

	総資産(百万円)	純資産(百万円)	自己資本比率(%)	1株当たり純資産
22年3月期第2四半期	19,930	12,706	63.6	1,089円26銭
21年3月期	20,202	12,627	62.4	1,082円20銭

(参考)自己資本 22年3月期第2四半期 12.680百万円 21年3月期12.600百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円、%)

	営業キャッシュ・フロー	投資活動キャッシュ・フロー	財務活動キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
22年3月期第2四半期	974	123	△421	2,159
21年3月期第2四半期	967	△226	△1,015	1,281
21年 3 月期	1,924	△782	△1,214	1,482

2. 配当の状況

		1株当たり配当金				
	期	末	年	間		
21年 3 月期	1	5円	1	5円		
22年3月期(予想)	1	5円	1	5円		

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日~平成22年3月31日)

(%は前年同期比増減率)

	売上高(百万円)	%	営業利益(百万円)	%	経常利益(百万円)	%	当期純利益(百万円	3) %	1株当たり当期純利益
通 期	33,700	1.8	750	5.9	870	1.4	500	37.8	42円94銭
							(注)	金額は高	百万円未満を切り捨てております。

◆株価推移



株式の状況・会社役員

■株式の状況(平成21年9月30日現在)

●設 立/昭和9年12月19日

●資 本 金/15億1,280万円 1,000株

●従業員数/478名(グループ人員 平成21年9月30 ④ 株 主 数 690名 日現在)

● 事業の内容/石油製品、LPガス、一般高圧ガスおよ び住設機器の販売、煉炭・豆炭の製造 販売

●子 会 社/三鱗運送株式会社

●社 名/サンリン株式会社

会社の概要

ウロコ興業株式会社 富山サンリン株式会社 サンエネック株式会社 上伊那ガス燃料株式会社 サンリン松本エネルギー株式会社

●関連会社/新潟サンリン株式会社

① 発行可能株式総数 40.000.000株 ② 発行済株式の総数 12,300,000株 ③ 1単元の株式の数

■大株主

株 主 名	持株数 (千株)	出資比率(%)
株式会社ミツウロコ	1,676	14.3
等 々 力 正 敏	614	5.3
株式会社八十二銀行	575	4.9
リンナイ株式会社	512	4.4
東燃ゼネラル石油株式会社	500	4.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	366	3.1
(管理信託口 79212)		
須 澤 孝 雄	346	3.0
曽 根 原 充 夫	331	2.8
曽根原かつ江	323	2.8
等 々 力 輝 久 江	203	1.7

(注) 出資比率は自己株式614千株を控除して計算しております。

■役 員(平成21年9月30日現在)

代表取締役会長 二 木 馨 三 柳澤勝久 代表取締役社長 川窪磯男 常務取締役 团 締 役 田島 直 取 締 役 廣 取 締 役 大 槻 清 人 取 締 役 山 崎 貞 男 团 寺 澤 久 水 締 役 取 締 役 塩 原 規 男 矢 口 秀 明 取 締 役 取 締 役 田島晃平 常勤監査役 曽根原 充 夫 常勤監査役 中村勝彦 監 杳 役 山 根 伸 右(社外監査役) 神澤正哲(社外監査役) 監 杳 役



株主メモ

事 業 年 度 4月1日~翌年3月31日

期末配当金受領 毎年3月31日(ただし、中間配当を行う場合

株 主 確 定 日 は 9月30日)

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号

TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 ジャスダック証券取引所

公告の方法 電子公告により行う

公告掲載URL

http://www.sanrinkk.co.jp/

(ただし、電子公告によることが出来ない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、

日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

株券電子化によるご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、 上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎい たします。
- (3) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合せください。
- (4) 未受領の配当金につきましては、三菱UFI信託銀行本支店でお支払いいたします。



